

1、み言葉を書いて覚えましょう。^{ぶんきゅう} 分級の^{さいご} 最後に、^{たが} お互いに^{あんしょう} 暗唱してたしかめよう。

ヨハネ 20・29

2、あなたは、イエス様の^{ふっかつ} 復活を信じていますか。○をしよう。(はい ・ いいえ)

3、どうして信じているのですか。○をしよう。

①親や教会の人たちが信じているから

②信じた方が得すると思うから

③聖書の言葉を読んで、よく考えて信じる決心をしたから

④「信じている」と言っただろうが、親や先生が喜んでくれるから

4、でも、ほとんどの日本人はイエス様を知らないし、^{ふっかつ} 復活など信じていないことに気づいた時に、あなたは自分はどうすると思いますか。○をしよう。

①信じることをやめると思う。

②すごく悩むと思う。

③ごまかして信じたふりをして生きると思う。

④それでもやはり信じていると思う。

5、「それでもやはり信じる」^{りゆう} 理由を考えよう。

(1) ^{しょうにん} 証人の数について

①何人必要ですか。(→ ヘブル 10・28) ひとりではダメ 人か 人必要

②トマスが信じなかった時、^{ふっかつ} 復活の^{しょうにん} 証人は、何人いたでしょうか。 人以上。

③トマスは、最後には信じましたか。○をしよう。(はい ・ いいえ)

④まわりの人が信じなくても、あなたは信じられますか。○をしよう。

①はい、信じます。

②いいえ、信じません。わたしはトマスより疑い深いです。

(2) 右と左のあうものを線で結び、どちらが自分にとって^{とく} 得かを考えよう。
(→1 コリント 15・12-22)

①復活がなかったらどうなりますか。・

・ (a) 罪はゆるされ、私も復活する。

②復活が本当ならどうなりますか。・

・ (b) 罪はゆるされずほろぶ。

(3) 「信じる」とは、100%全部はわからなくても、どちらかにかける、ということでもあります。あなたは、どちらにかけますか。

(復活あり ・ 復活なし)

③ ^{かみさま} 神様、^{うたが} あんなに^{ふか} 疑い深かったトマスも信じたことを知りました。^{わたし} 私はトマスよりは素直です。また、^{とく} どちらが得かも^{たし} 確かめたので、自分の思いや感情だけでなく、しっかりと^{なつとく} 考え納得して信じます。・・・ アーメン。



2008 4月13日

マリヤよ

なまえ
名前

1、み言葉を書いて覚えましょう。^{ぶんきゅう}分級の^{さいご}最後に、^{たが}お互いに^{あんしょう}暗唱してたしかめよう。

ヨハネ 20・16

2、このマリヤは、どのマリヤでしょうか。○をしよう。

ヨハネ 11・1~

①イエス様の母
のマリヤ②マグダラ
のマリヤ③マルコと呼ばれている
ヨハネの母のマリヤ④ベタニアのラザロの姉であり、
マルタの妹である マリヤ

使徒 12・12

3、ペテロやヨハネは^{はか}墓から帰ってしまったのに、マグダラのマリヤは^{はか}墓からはなれず、泣き続けていました。どうしてでしょうか。○をしよう。

①愛してやまないイエ
ス様が殺され、死体さえ
もなくなったので、ただ
ただ悲しんでいた。②ペテロとヨハ
ネが帰ってしま
ったのでさびし
くなった。③おなかがす
いて動けなく
なったので悲
しくなった。④イエス様がどんなに自
分を愛してくださったか
を思い出し、その愛に涙
が止まらなかった。

4、その後、イエス様に声をかけられたのに、イエス様だと気づきませんでした。どうしてでしょうか。○をしよう。

①目に涙が一杯で
よく見えなかつ
たから。②死人がよみがえるなどと
はまったく思いもよらな
いことだったから。③気もちがパニック
になっていた
から。

5、その後、「マリヤよ」と呼びかけられた時、イエス様だとわかりました。イエス様の復活を知って、心から喜んだマリヤは、最初に何をしましたでしょうか。

①弟子たちにイエス様の
復活を伝えにいった。②きれいに墓のそうじを
した。③人々を呼んでお祝いの
パーティーを開いた。

かみさま

神様、マグダラのマリヤのように、罪から救ってくれたイエス様を愛し、^{ふっかつ}復活

されたイエス様を信じて、^の宣べ伝えるものとしてください。・・・ アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。分級の最後に、お互いに暗唱してたしかめよう。

ヨハネ 21・17

2、イエス様を裏切ったペテロをどう思いますか。○をしよう。

①ひどいやつだ

②裏切り者だ

③人間にはだれにも弱さがある

④不信仰なやつだ

⑤悪気はなかった、仕方がないよ

3、ペテロが言ったことを調べてみよう。

(1) ペテロは、十字架の前にどのように言いましたか。

マタイ 26・33、35

(2) 十字架の時には、どのように言いましたか。

ルカ 22・31～34
も参考になるよ。

マタイ 26・56
マタイ 26・70
マタイ 26・72
マタイ 26・74



(3) 何回、イエス様を「知らない」と言ったでしょうか。



4、ペテロは、イエス様の復活を信じて後も、「私はイエス様を裏切ったのだ」という思いが消えませんでした。そのペテロに対してイエス様は何をしたでしょうか。

①反省文を書かせた。

②「よくも裏切ったな」と言った。

③やさしく取り扱い、心の傷をいやしてくださった。

5、イエス様は「イエスを知らない」と3回言ったペテロに、「わたしを愛するか」と3回おたずねになりました。イエス様の役とペテロの役に分かれてロールプレイをしてみましょう。・・・どういう気持ちになりましたか。

(Ⅰ) 「ヨハネの子シモンよ、あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか。」
「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです。」
「わたしの小羊を養いなさい。」

(Ⅱ) 「ヨハネの子シモンよ、わたしを愛するか。」
「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです。」
「わたしの羊を飼いなさい。」

(Ⅲ) 「ヨハネの子シモンよ、わたしを愛するか。」
「主よ、あなたはすべてをご存じです。わたしがあなたを愛していることは、おわかりになっています。」
「わたしの羊を養いなさい。」

③ かみさま うらぎ 神様、裏切った者を、愛し、ゆるし、主の働きに遣わしてくださることを感謝します。・・・ はたら つか アーメン。



2008 4月27日

かみ くに
神の国

なまえ
名前

1、み言葉を書いて覚えましょう。分級の最後に、お互いに暗唱してたしかめよう。

使徒行伝 1・9

2、イエス様は、復活の後、弟子たちに何について語られたでしょうか。○をしよう。

①神の国

②趣味

③好きな食べ物

④これから行く旅行

⑤これからの夢

3、イエス様が言われた「神の国」と、弟子たちが思った「神の国」は、どのように違い
ましたか。 に名前をいれよう。

イスラエルの
国を支配していた「ローマ帝国」を
やっつけて、世界を支配する「イス
ラエル」の国が建つこと

イエス様を救い
主と信じ受け入れた者の心の中に、神様
の支配・統治が広がり、目には見えない
が神様が支配し、神様に従う「神の国」
が世界中に広がっていくこと

4、神の国を建てあげるための、イエス様のみわざの説明が、書いてあります。それを
何と言うかを () から選んで に書き入れよう。

(1) 天地万物を造られたこと

(2) 罪をおかした人間を神の国の民として回復する
ために、人となって身代わりに死なれたこと

(3) 罪のゆるしを確実にし、罪の罰
としての死をほろぼしたこと

(4) 本来おられるべき天に帰られたこと

(5) イエス様は天に帰られたが、その代わりに
キリストの御霊がくだってこられたこと

(6) 世の罪をさばき、神の民をむかえ、神の国を完成させる
ためにイエス様がもう一度地上においでになること

(創造 十字架 復活 昇天 聖霊降臨 再臨)

③ 神様、イエス様のみわざの全体が「神の国」をめざして進められていることがわ
かりました。今、聖霊降臨まで実現しているので、次は再臨であることも知りま
した。そのことを忘れないで信仰生活を歩ませてください。アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。ぶんぎゅう さいご 最後、おたが あんしょう 互いに暗唱してたしかめよう。

ヨハネ16・13

2、イエス様が天に帰られるとき、どんなやくそく 約束をされましたか。
(→ 参考：ヨハネ14・16～17、ヨハネ15・26)

別に (A) である (B) の (C) を送る
「もうひとりの」という意味です

3、イエス様が地上を去り、「もうひとりのたす ぬし 助け主であるしんり みたま 真理の御霊」が来ることが、
どうして「益(えき)」となるのでしょうか。考えてみましょう。

(A) 「もうひとりの」という意味はどちらですか。

愛と恵みの
性質

① 同じ性質、同じ能力の、
まるでふたごのような、という意味

天地を創造され
た知恵と力

② 性質も、能力も、まったくちがう、
他人のような、という意味

(B) 「しんり 真理」のお方が何をしてくれるか、次の聖書の箇所からしらべよう。

- ① ヨハネ14・26 ()
- ② ヨハネ15・26 ()
- ③ ヨハネ16・13 ()

「からだ」は、ある時間には、ひとつの場所にしかいることができません。

「霊」なる神様はいつでもどこにでもおられます。

(C) イエス様はからだを持っておられますが、御霊は霊なのです。そのことを考えてみよう。

① イエス様は、天にのぼられたならば、地上には(いる ・ いない)。○をしよう。

② []の中に自分の名前を書き入れて、読んでみよう。(→ ヨハネ14・16～17)

みたま
御霊は、いつまでも

と共に、

のうちにいる。

4、そうごうてき 総合的に考えて、どちらがあなたにとって「えき 益」となると思いますか。○をしよう。

(①イエス様が地上にいること ・ ②御霊が地上に来られること)

③ 神様、イエス様の代わりに、こんなにすばらしいしんり みたま 真理の御霊が来てくださって
いることを感謝します。・・・ アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。分級の最後に、お互いに暗唱してたしかめよう。

使徒行伝 2・17

2、イエス様の命令(使徒1・4-5)に従って、弟子たちは父の約束を求めて祈り続けました。

(1) 父の約束とは何ですか。

(2) 何日間、祈り続けましたか。(ヒント:使徒1・3と2・1をくらべて)

日間

3、その結果、不思議なことがおこりました。4節を読んで 書きこもう。

(1) 一同は

①

に満たされ、

②

が語らせるままに

いろいろの

③

の言葉で語りだした。

つまり、福音のことだね。

(2) 御霊は何を語らせたのでしょうか。(11節)

彼らのふるさとの国々です

(3) いくつの国の言葉でしたか。(9~11節)

⑤

ヶ国 以上

つまり、弟子たちは、今まで話したことのない外国の言葉で、スラスラと福音を語りはじめたわけです。

4、これにより世界宣教が始まりました。()から選んで 書きこもう。

(1) ヨエルの預言の成就...

①

時代は、特別な人だけに

②

が降った。

ヨエル2・28~29 使徒2・17~

(2) しかし、

③

時代は、信じるすべての人に

④

が降る。

(3)

⑤

の誕生...全世界へ福音が伝えられ

⑥

のスタート。

(聖霊 世界宣教 キリスト教会 旧約 新約)

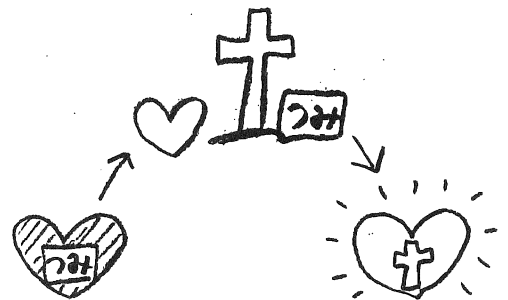
③ 神様、聖霊降臨によってキリスト教会が誕生し、信じるすべての者に聖霊が降って、神様に用いられ、世界宣教がスタートしていることを知りました。その中に 私たちも生かして用いてください。... アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

しと
使徒2・38

2、聖書を読み、質問に答えましょう（使徒2・36～47）。

① 次の質問に、右から答えを選んでみよう。

・ペテロの話^{はなし}を聞いた人々が心^{こころ}を強く刺^つされたのはなぜでしょう（36,37節）。
()・ペテロが、心^{こころ}を刺^さされた人々に最初^{さいしょ}に勧めたのは、何^{なん}でしょう（38節）。
()・ペテロは、何^{なん}のためにバプテスマ（洗礼）^{せんれい}を受けよう勧めましたか（38節）。
()・ペテロは、バプテスマ（洗礼）^{せんれい}を受けるとどうなるといいましたか（38節）。
()ア) 聖霊^{せいれい}の賜物^{たまもの}を受ける。イ) 悔^くい改^{あらた}める。ウ) 自分^{じぶん}の罪^{つみ}がわかった。エ) 罪^{つみ}が赦^{ゆる}される。② 教会^{きょうかい}では、何^{なに}をしていたでしょう（42～47節）。
()☆お祈^{いの}り。 ☆使徒^{しと}の教^{おしえ}を守^{まも}る。 ☆けんか。 ☆奇跡^{きせき}としるしを^{おこな}う。 ☆お金^{かね}儲^{もう}け。☆持ち物^{もの}を分^わけ与^{あた}えた。 ☆一^{いっ}緒^{しょ}に食^{しょく}事を^じした。 ☆信徒^{しんと}の交^{まじ}わり。 ☆賛美^{さんび}。 ☆礼拝^{らいはい}。③ 教会^{きょうかい}は、周り^{まわ}の人^{ひと}にどのよう^{おも}に思^{おも}われていたでしょう（47節）。
()3、初^{はじ}めの教会^{きょうかい}は、なぜ、人^{ひと}々に良^よく思^{おも}われたのでしょうか。自由^{じゆう}に考^{かんが}えてみよう。

()

④ 神^{かみ}様^{さま}、聖^{せい}霊^{れい}の働^{はたら}きに感^{かん}謝^{しゃ}します。私^{わたし}も、イエス様^{イエスさま}を信^{しん}じて、罪^{つみ}の赦^{ゆる}しと聖^{せい}霊^{れい}の賜物^{たまもの}を受けられま^うすように。アーメン。★イエス様^{イエスさま}を信^{しん}じて洗^{せん}礼^{れい}を受^うける人^{ひと}は、だれでも聖^{せい}霊^{れい}を受^うけま^うす。そして、神^{かみ}様^{さま}の力^{ちから}が私^{わたし}たち^{はたら}のう^ちに働^{はたら}くようにな^りま^す。

1、み言葉^{ことば}を書いて覚え^かましょう。^{おぼ}しと
使徒6・42、聖書^{せいしょ}を読み、質問^{しつもん}に答え^{こた}ましょう（使徒6・1～7）。^{しと}① 教会^{きょうかい}に、どのような問題^{もんだい}が起こ^おったのでしょうか（1節）。^{せつ}

()

② 問題^{もんだい}の解決^{かいけつ}のためにどのような人^{ひと}が選ば^{えら}れたのでしょうか（3節）。^{せつ}

()

③ 使徒^{しと}たちは、何^{なに}をすることにしたのでしょうか（4節）。^{せつ}

()

④ その結果^{けっか}、どうな^なったのでしょうか（7節）。^{せつ}

()

3、④のようになったのは、なぜだと思^{おも}いますか。②と③を参考^{さんこう}に考^{かんが}えてみよう。

()

4、教会^{きょうかい}の働^{はたら}きをするために必要^{ひつよう}なことは、何^{なん}だと思^{おも}いますか。選^{えら}んでみよう。☆一^{いっしよ}所^{けんめい}懸命^{けんめい}にがんばる。 ☆よく勉^{べん}強^{きやう}をする。 ☆聖^{せい}霊^{れい}に満^みたされる。☆好^{この}き嫌^{きら}いしないでよく食^くべる。 ☆よくお祈^{いの}りをする。 ☆人^{にん}気^き者^{もの}になる。☆友^{とも}だちをたくさんつくる。 ☆聖^{せい}書^{しょ}をよく読^よむ。③ かみさま わたし さま しん せいれい み
神様、私も、イエス様を信じ、聖霊に満たさ
れたものとされますように。そして、教会^{きょうかい}やイ
エス様^{さま}のお手伝^{てつだ}いができますように。アーメン。せいれい ちえ み
★聖霊と知恵に満たされた
ひとびとが教会の働きに立て
られました。そして、それぞ
れが働いて教会は盛ん^{さか}に
なりました。

1、み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。しと
使徒8・392、聖^{せいしよ}書^よを読み、質^{しつもん}問^{こた}に答^{しと}えましょう（使徒8・26～40）。①ピリポは、聖^{せいれい}霊^{みたま}（御^{なん}霊^い）に何^いと言^いわれましたか。

()

②宦^{かんがん}官^{なに}は、何^{なに}をしていましたか（30節）。

()

③宦^{かんがん}官^{なに}は、どんなことを考^{かんが}えながら聖^{せいしよ}書^よを読^よんでいたと思^{おも}いますか（31、34節）。◎話^{はな}し相^{あいて}手がほしい。 ◎聖^{せいしよ}書^{こと}の事^{おし}を教^{おし}えてほしい。 ◎早^{はや}く帰^{かえ}りたい。◎だれについて書^かいてあるかわからなかった。 ◎自^じ分^{ぶん}も預^{よげん}言^{しゃ}者^{しや}になりたい。④ピリポは、宦^{かんがん}官^{なに}に何^{なに}を伝^{つた}えましたか（35節）。

()

3、あなたも、聖^{せいしよ}書^{おし}を教^{おし}えてほしいと思^{おも}ったことはありますか。

ある ない

4、あなたもピリポのような働^{はたら}きをするとしたなら、何^{なに}ができると思^{おも}いますか。自^じ由^{ゆう}に考^{かんが}えてみよう。

()



③ かみさま わたし せいれい たす さま
神様、私 も、聖霊の助けによって、イエス様
の^{つた}ことをお伝^{つた}えできますように。アーメン。

かみさま わたし みちび
★神様は、私 たちを 導^{みちび}い
てくださり、人々に聖^{せいしよ}書^{ひとびと}の
ことやイエス様の^{さま}ことを伝^{つた}
えようとしておられます。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

サムエル 上 3・9

2、聖書を読み、質問に答えましょう (サムエル 上 3・1～14)。

① 神様がサムエルを呼ばれたとき、サムエルはどうしましたか (4～6節)。

()

② なぜサムエルは、エリのところに行ったのでしょうか (7節)。

()

③ サムエルは、四度目に呼ばれたとき神様に何と応えましたか (10節)。

()

④ サムエルが言った「しもべ」(僕)とは、どのような人のことでしょうか。(10節)。

◎ 人の召使。 ◎ 神様に仕える人。 ◎ 神様に従う人。

◎ 小さい男の子。 ◎ 良く働く人。 ◎ 神殿でお仕事をする人。

3、今日のお話を聞いて、私たちも神様のみ言葉を聞くに

はどうしたらよいと思いますか。自由に考えてみよう。

◎ 教会で寝る。 ◎ よくお祈りをする。 ◎ 神様に従う思いをもつ。

◎ よく勉強する。 ◎ 早く寝る。 ◎ 教会学校のお話をよく聞く。

◎ 聖書を読む。 ◎ 神様のみ言葉を求める思いをもつ。

◎ そのほか ()



★だれでも、神様からの導きが必要です。神様は、今も私たちに語りかけてくださいます。み言葉を求めて、よく祈りましょう。

③ 神様、私もあなたのみ言葉を聞きます。私にもお語りください。アーメン。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

しと
使徒9・10

2、聖書を読み、質問に答えましょう（使徒9・1～19）。

① パウロは、どのような状態だったのでしょうか（9節）。

()

② 神様は、アナニヤにどのような命令をされたのでしょうか（11節）。

()

③ 神様の命令を聞いたアナニヤは、どうしましたか（17節）。

◎神様の言われるとおりにした。 ◎神様に逆らった。

④ アナニヤは、パウロにとってどのような人となりましたか（17節）。

◎クリスチャンの最初の友だち。

◎イエス様からつかわされた人。

◎手を引いてくれた人。

◎パウロをいじめた人。

◎苦しいときに訪ねてくれた人。

◎イエス様のみ心を伝えてくれた人。

◎目が見えるようにしてくれた人。

◎食事を持ってきてくれた人。

3、④の答えを見て、あなたもアナニヤのような働きをしたら、何ができると
おもいますか。自由に考えてみよう。

()

③ 神様、私もイエス様のみ心に従います。

私を必要とする人のところに、私をつかわ
してください。アーメン。★人がイエス様を信じるために
は、導いてくれる人が必要で
す。そして、イエス様は、私
たちを用いてくださいます。

1、み^{ことば}言^か葉^{おぼ}を書いて覚えましょう。しと
使徒4・362、聖^{せいしよ}書^よを読み、質^{しつもん}問^{こた}に答^{しと}えましよう（使徒9・26～31）。① エルサレムの弟^{でし}子^したちは、サウロ（パウロ）をどのように考^{かんが}えましか（26節）。

()

② その時^{とき}のサウロの気^き持^もちを考^{かんが}えてみよう。

()

③ バルナバの働^{はたら}きと、サウロのし^{した}たこ^{えら}とを下^{した}から選^{えら}んでみよう。・バルナバがし^{せつ}たことは（27節） ()

・そしてサウロは（28～29節） ()

ア) サウロをおく^{おく}かえ^{かえ}した。 イ) サウロを使徒^{しと}たちのところ^{ところ}に連^つれて行^いった。ウ) サウロのこ^{でし}とを弟^{でし}子^したちに説^{せつめい}明^{めい}した。 エ) 弟^{でし}子^したちの仲^{なか}間^まに加^{くわ}わった。オ) 弟^{でし}子^したちから離^{はな}れてい^いった。 カ) イエス様^{さま}のこ^{こと}とを人^{ひと}々^{びと}に伝^{つた}えた。3、バルナバ（^{なぐさ}慰^こめの子）と^よ呼^{りゆう}ばれていた理^{かんが}由^がを考^{かんが}えてみよう。

()

4、あ^がな^がた^が、学^{がっこう}校^{きょう}や教^{きょう}会^{かい}など^なでバ^なル^なナ^なバ（^{なぐさ}慰^こめの子）のよ^{はたら}うな働^{はたら}きをす^しるとし^したら、何^{なに}がで^{おも}き^{おも}え^えると思^{おも}いますか。

()

③ かみさま わたし ひと なぐさ はげ
神様、私 も人 を慰めたり、励ましたり、
う い はたら
受け入れる 働 きができますように。アーメン。★バルナバの^{ほんどつ}本^{なまえ}当^{なまえ}の名前は、ヨハネ
です。人^{なぐさ}を慰^{はたら}める働^{はたら}きが、ニッ^よクネー
ムになりバルナバと^よ呼^{りゆう}ばれました。

1、み言葉を書いて覚えましょう。

使徒11・26

2、聖書を読み、質問に答えましょう（使徒11・19～26）。

① アンテオケでは、どのようなことが行われていたでしょう（20節）。

()

② その結果、どうになりましたか（21節）。

()

③ ステパノは、何と言って人々を励ましましたか（23節）。 ※主=イエス・キリスト

()

④ アンテオケでクリスチャンと呼ばれた人々は、どのような人々だったのでしょうか。
今日のお話と①③を参考にして考えてみよう。

- ・キリストを信じて離れない人。 ・教会に通っている人。 ・キリストを信じ伝えている人。
- ・キリストを信じて立派な行いをしている人。 ・こっそりキリストを信じている人。

3、人はどのようにしてクリスチャンになるのでしょうか。順番に並べてみよう。

ア) 救われてイエス様と共に生きる人とされる。

イ) 自分の罪を知って悔い改める。

ウ) 聖書やイエス様のお話を聞く。

エ) イエス様が自分の代わりに罪の裁きを受け十字架で死なれたことと、よみがえられたことを信じる。

() ⇒ () ⇒ () ⇒ ()

クリスチャンの誕生!!

③ 神様、私もイエス様を信じ、イエス様とともに生きる者としてください。アーメン。

★イエス様は、イエス様を信じる人をご自分のもの（クリスチャン）とされます。そして、イエス様とともに生きることになります。

2008年度 牧羊者 第Ⅰ巻

ワークC解説 4~6月

4/6

●第1問 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。書くだけで終わらないで、分級の最後にはお互いに言い合って、暗唱できたかを確かめましょう。

●第2問 自分の思うとおりに○をします。

●第3問 模範解答は③ですが、内心は、①も②も④も無意識の内に含まれているでしょう。③に○をしたとしても、その他の気持ちもあるかどうか、話しあってみましょう。生徒の（もしかしたらCS教師も）無意識の本心が探られて、有益な話し合いになるかもしれません。

●第4問 クリスマンホームの子の場合には、大人、親、教会の先生が教えるとおりに信じているのが最初の段階の信仰でしょう。しかし、この世の思想は反キリストである現実**に**ぶつかっていきます。そのときを想定して考えてみましょう。もうすでに、そのようなつまづきやショックを覚えていることがあるでしょう。それを話し合ってみましょう。模範解答は④です。

●第5問 疑いの中から、信仰を選び取っていくために、客観的、知性的な部分で考えてみましょう。この「証人」については3月23日「復活の事実」でも取り扱いましたが、復習の意味でもう一度考えます。引用聖句は新約聖書のヘブル書にしています。答えは、(1) ①2、3、②11(この11という数字は、ユダとトマス以外の10人の弟子とマグダラのマリヤの合計11人のことです)です。③と④は、自分の思うところに○をします。(2) 今度は、損得の観点から考えます。損得と言えば打算的でお金のことを連想しますが、結局、信仰の決断も、この点から考えることも必要です。① — (b)、② — (a) と線で結び、どちらが自分にとって得(益がある)かを話し合いましょ。この損得というとらえ方が信仰の中心であるというのではなく、疑い深いトマスを念頭**に**おいての質問です。しかし、永遠の命を考慮に入れた中で、明らかに「得」であると客観的にも判断できます。

(3) さらに、信じるとは、決断をして信仰に飛び込むことです。神様のことを100%理解してから信じる、などはあり得ないことだからです。私たちも、天地創造の全知全能の神の存在、罪と赦し、永遠の命、という基本を理解して、思い切って信仰に飛び込んだはず**です**。自分の得になるほうに○をします。

4/13

●第1問 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。書くだけで終わらないで、分級の最後にはお互いに言い合って、暗唱できたかを確かめましょう。

●第2問 答えは、②です。

●第3問 答えは、①、④です。

●第4問 答えは、②です。

●第5問 答えは、①です。

4/20

●第1問 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。書くだけで終わらないで、分級の最後にはお互いに言い合って、暗唱できたかを確かめましょう。

●第2問 自分の思うところに○をします。

●第3問 (1) 答えは、マタイ26・33、35を読んで、ペテロの言葉を書き込みます。

(2) 答えは、マタイ26・70、72、74を読んで、ペテロの言葉を書き込みます。

(3) 答えは、3です。

●第4問 答えは、③です。

●第5問 ここでは、イエス様の役とペテロの役に別れてこの3回の会話をロールプレイしてみます。ペテロの役は「自分は3回もイエスを知らない」と言ったことを念頭に置きながら、イエス様の役は、そういうペテロを愛し、赦し、癒し、主の働きに遣わそうとしている思いを念頭に置きながらやってみます。何か、感じたことがあったら話し合ってみましょう。もしも「赦されたんだなあ」という気持ちになったら、3(2)のペテロの言葉の一つ一つ「×」をつけて消してみましょう。

4/27

- 第1問 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。書くだけで終わらないで、分級の最後にはお互いに言い合って、暗唱できたかを確認しましょう。
- 第2問 答えは、①です。
- 第3問 答えは、左が「弟子たち」、右が「イエス様」です。このイエス様の言う意味での「神の国」の中身をゆっくり読み合わせてください。
- 第4問 上から順番に「創造」「十字架」「復活」「昇天」「聖霊降臨」「再臨」です。
- テーマは「昇天の主」であり、目標は「昇天の様子と再臨の約束を心に刻む」ですが、説教例にあるように「神の国実現」のための昇天、再臨であることを踏まえて「神の国」という題名にし、その点を中心として全体をとらえようとしています。

5/4

- 第1問 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。書くだけで終わらないで、分級の最後にはお互いに言い合って、暗唱できたかを確認しましょう。
- 第2問 答えは、(A) 助け主、(B) 真理、(C) 御霊、です。「別に」はヨハネ14・16にあります。新改訳では「もうひとりの」と訳されています。英語では「another」です。
- 第3問 答えは、(A) は①です。(B) は、①「すべてのことを教え、イエス様の話を思い起こさせる」。②「イエス様についてあかしをする」、③「あらゆる真理に導く」です。(C) ①「いない」に○です。②は自分の名前を書き入れましょう。
- 第4問 答えは、②です。
- 第5問 答えは、①です。
- 「別に(もうひとりの〔新改訳〕) 助け主である真理の御霊」についてとらえることが目的です。イエス様が地上を去り、聖霊様が地上に来られることが私たちにとって益であることの理由をとらえます。そのために、ヨハネ14・16～17、26、ヨハネ15・26、ヨハネ16・7～15を読み比べて備えてください。
「別に(もうひとりの)」という言葉は、同一ではなく別であるが、同じ性質同じ能力を持つ双子のような、もうひとりの、という意味です。三位一体でただひとりの神様の、第二位格である主イエス様と第三位格である聖霊様のことが語られています。天地万物創造の力において、愛と恵みのご性質においてまったく同じお方が、外に別におられるのではなく、いつまでも、共に、内にいてくださる、ということにおいて「益」なのです。

5/11

- 第1問 本日のみ言葉を書き入れ、覚えます。書くだけで終わらないで、分級の最後にはお互いに言い合って、暗唱できたかを確認しましょう。
- 第2問 答えは、(1)「聖霊によってバプテスマ^{ごじゅんせつ}を受けられる」です。(2) 10、です。40日間復活の体を弟子たちに現された後に、昇天され、五旬節は50日目ですから、その差は10日間です。
- 第3問 答えは、①聖霊、②御霊、③他国、④神の大きな働き、⑤17、です。17ヶ国というのは、9～11節の地名を数えて17としたわけです。17ヶ国以上だと思われそうですが、正確にはわかりません。
- 第4問 答えは、①旧約、②聖霊、③新約、④聖霊、⑤キリスト教会、⑥世界宣教、です。

5/18

- 第1問 聖書を開き、暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 聖書を読み、質問に答えてもらいます。聖霊を受けるまでのことと受けてからのことが質問になっています。罪を知り、悔い改め、罪の赦し^{ゆる}のためのイエスの名によるバプテスマを受け、聖霊を受けます。そして聖霊により教会の働きが豊かになり、証と宣教^{あかし}が進みます。人々に与えられた聖霊によって教会の働きがなされていることを説明します。
- 第3問 自由に考えてもらいます。聖霊を受けてその働きがあったこと、聖霊の神としてのすばらしいご性質が表れていることを説明すると良いでしょう。また、聖霊を受けるという約束は、39節によると私たちにも当てはまります。信じている子どもには罪の赦しと聖霊が与えられる約束を確認し洗礼についての導きをしましょう。

5/25

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 聖書を輪読し、聖書を見ながら質問に答えます。問題の発生から解決、その後のことを質問しています。
- 第3問 答えは、苦情がなくなり教会の問題が解決した、良くお祈りができた、神の言葉がたくさん語られるようになった、聖霊に満たされた人が教会のために働いた、教会の人々がそれぞれ神様のために働いた、等。
- 第4問 第2問、第3問の答えを参考に自由に考えて選んでもらいます。教会の主は、キリストですからキリストにしっかりつながることが重要です。

6/1

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、聖書を見ながらそれぞれの質問に答えます。長いと思える場合は、35節までにしても良いでしょう。聖霊によるピリポの働きを確認します。
- 第3問 自由に答えてもらいます。聖書に対する思いが表れます。
- 第4問 第1問のピリポの働きを考えながら自由に答えてもらいます。神様は、人を用いられること、聖霊は私たちを導いてくださることを伝えます。子どもがキリストを伝えることができるよう一緒に祈りましょう。

6/8

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。長いようなら10節まででも質問には答えられます。四度目にサムエルは、主のしもべとしてみ言葉を聞いたことを確認します。③の答えは、「神様に仕える人」「神様に従う人」。
- 第3問 自由に考えて選んでもらいます。神様のみ言葉に導かれ生活することの幸いを説明すると良いでしょう。また、生徒が、今、特別な導きを求めているかも知れません。聖書を読むことや教会に来ることを勧め、祈ってあげましょう。

6/15

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を読み、それぞれの質問に答えます。ワークに答えるためだけなら、8節以降からでも十分です。朗読を短くする場合は、割愛した部分を説明すると良いでしょう。アナニヤは、どのようなことのために遣わされ、用いられたのか確認します。
- 第3問 ④の答えを見ながら自由に書いてもらいます。神様のことを伝えたり、困っている人を助けるために何ができるか考えてもらいます。そして、神様は、今も私たちを遣わされる方である事、あなたを必要としておられる方であることを説明し、祈ってあげましょう。

6/22

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 み言葉を輪読し、それぞれの質問に答えます。②は、主を信じていながら主の弟子たちに受け入れられないサウロの状況を説明し、考えてもらいます。
- 第3問 ②と④を見ながら考えてもらいます。
- 第4問 子どもの置かれた立場で何ができるか考えてもらいます。考えにくいようなら、バルナバの働きを確認し、慰め励ますことの大切さを説明しましょう。学校で仲間外れにされているお友だちのため、また、新しく教会学校に来たお友だちのため、など。

6/29

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 聖書を読み質問に答えます。アンテオケ教会の誕生のいきさつと、クリスチャンと呼ばれるようになった理由を答えてもらいます。④の答えは、キリストを信じて離れない人。キリストを信じ伝えている人。
- 第3問 今の私たちがクリスチャンになる順番です。答えは、ウイエア。良い行いがあってから信じるのではなく、ありのままイエス様を信じて、それから恵みにより変えられる事を説明します。子どもたちに、クリスチャンになることの素晴らしさ（罪の赦し、天国にいける、いつもイエス様と一緒に、新しい人とされること、つくりかえられること等）を説明し、クリスチャンになりたいか聞いてみるのも良いでしょう。また、すでに信じている子どもには、アンテオケ教会の人々がクリスチャンと呼ばれたことを模範として証することを勧めましょう。